



初等部だより 9月号

鎌倉女子大学初等部
令和6年9月2日
第5号

よりよい授業を目指して

部長 目崎 淳

子どもたちの元気な声が校舎のあちらこちらから聞こえ、充実した夏休みをすごせたのだなと感じました。今日から二学期がはじまります。

本日、松本講堂において、二学期の始業式を実施いたしました。式の中で行われた代表児童による「二学期の目標」からは、どの子どもそれに向かってどのように取り組んでいくのか具体的に述べられており、大変頼もしく感じました。代表児童だけでなく初等部生全員がしっかりと目標を立て、その実現に向けて努力することができるよう、担任を中心に十分な支援をしていきたいと考えています。また、私からは、夏休み明けの体は、暑さや運動等に慣れていないこと、今後も気温の高い暑い日が続くと予想されること、熱中症を予防するためには暑さに負けない体づくりをすること、水分補給を適切に行っていくこと、そして、具合の悪いときにはすぐに知らせてほしいことを話しました。（「ほけんだより9月号」に詳しく書かれていますので、こちらも併せてお読みください。）ご家庭においても、今まで同様に子どもたちの健康観察を十分にさせていただき、毎朝、元気な状態で初等部に登校することができるよう、ご協力をお願いいたします。

さて、子どもたちの夏休み期間に「よりよい授業」「よりよい学級経営」を目指して、職員研修会を行いました。研修会自体は、毎年様々なテーマで行っているところですが、今回は専門性の高い講師の先生をお招きし「授業のユニバーサルデザイン化」というテーマでご指導を受けました。すべての子どもたちが主体的に学び合えるよう、今後の授業改善や人材育成にいかしていこうという趣旨で行いました。先生からは、ユニバーサルデザインの教育における重要性とその実践に必要な要素について、学ぶこと

ができました。教室環境を整えることや、授業の場の設定を考えることなど、日常的な授業実践から取り組んでいくことが大切であることは言うまでもありません。今後もこのようなことを意識しながら、二学期からの学習指導や学級経営に役立てるために、今回の学びを取り入れていきたいと思っています。



二学期は、一年で一番長い学期です。宿泊体験学習や秋の遠足、鎌倉めぐり、みどり祭、学習発表会など、初等部では多くの行事が計画されています。一学期が「基礎づくり」であるとするならば、二学期はその長さをいかして「チャレンジステージ」と考えることができます。学校行事は「(3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。」（下線部分：文部科学省 小学校学習指導要領解説特別活動編）とあります。長い二学期だからこそ取り組めることに腰を落ち着けてチャレンジする。そして、その貴重な経験や学びが、これからの初等部生活にいかされ、自信となり、子どもたちの更なる成長につながることを期待しています。